

ネットワークを通じて、 世の中に“わっ!!”を提供する



アミューズメントオンライン事業

PC領域において、オンラインのパチスロ・パチンコゲームを中心としたサービスを展開しております。



アミューズメントモバイル事業

モバイル領域において、パチスロ・パチンコゲームや各種コンテンツの配信サービスを展開しております。



ポイントメディア事業

インターネット上でユーザーが各種サービスを利用することでポイントを獲得し増やすことのできるポイントサービスを運営しております。



モバイルコンテンツ事業

主にモバイル領域において、着メロ等の音楽サービスやメール関連サービスを展開しております。



ソリューション事業

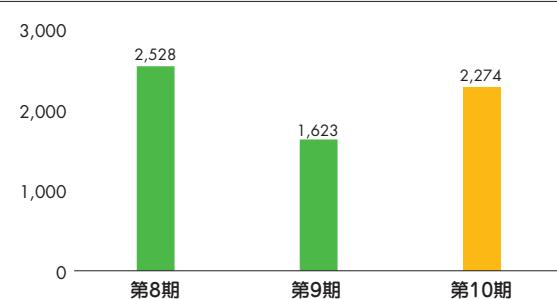
各種コンテンツやWeb関連システム等の企画から開発・運営まで一貫したサービスを提供しております。

連結決算ハイライト

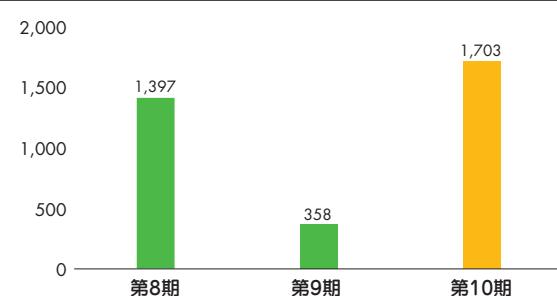
● 売上高 (単位：百万円)



● 経常利益 (単位：百万円)



● 当期純利益 (単位：百万円)



株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別なるご支援を賜り、誠にありがとうございます。

当社は「ネットワークを通じて、世の中に“わっ!!”を提供する」をコーポレートスローガンとし、「喜び」「楽しみ」「感動」を感じていただける様々なサービスを提供してまいりました。

景気後退と消費低迷の環境の中、2009年3月期は利益重視を基本方針として「筋肉質の会社」を目指しコスト構造および業務の改善と、以下の3つの重点課題に取り組みました。

第1にコア事業のアミューズメント事業の強化。特に「777タウンドットネット」のライセンス供与元メーカーを23社に拡げつつ、アイテム・アバター・ゲームの追加などにより収益拡大を図ってまいりました。

2番目に、子会社の株式会社リアラスによるポイントメディア事業「予想ネットモバイル」の成長。2008年7月よりiモード公式サイト「予想ネットmobile」、10月にKDDIとの協業サイト「au oneおこづかい」としてスタートし、当期末会員数は両キャリア計約57万人と極めて好調です。

3番目は、エデュテイメント分野の活性化。ターゲットを中高生に特化した無料コミュニティサイト「uchico」を2008年8月にスタートさせ、会員獲得に努めました。

その結果、2009年3月期は、連結売上高110億77百万円（対前期比0.6%減）、経常利益22億74百万円（対前期比40.1%増）と、特に利益面で大きな改善を果たしました。

また、原価や販管費の低減に努め、営業利益率30%（単体）を達成いたしました。

今後につきましては、最重点分野の「予想ネットモバイル」で、大幅な会員数増加と同時に業績成果も追求し、中核事業として成長させていく考えです。

次に、アミューズメント事業の売上高を現状の約100億円から拡大させるべく、会員数の更なる拡大を図ります。戦略的には、新規ユーザー開拓につながる公営キャンブルとの提携や、サイト内ゲームセンターの開設などを進めております。また、新たなプラットフォームとして家庭用ゲーム端末も検討をしております。



さらに、エデュテイメント分野の「uchico」においては、来期に向けたビジネスモデルの構築を目指してまいります。

2010年3月期の連結業績は、当期売上高、営業利益ともに10%増となる売上高124億円、営業利益25億円、経常利益25億円、当期純利益13億50百万円を見込んでおります。

株主の皆様への利益還元方針としましては、当期より皆様への利益還元をさらに充実させるべく、「連結配当性向20%」を目安とし増配させていただきました。今後この水準を維持しつつ、更なる業績の拡大とともに一層充実した利益還元ができるよう、努力いたします。

株主の皆様におかれましては、長期的な視点で当社の成長にご期待いただき、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2009年6月

代表取締役社長 **大野政昭**

アミューズメント事業の収益力を拡大しつつ 「予想ネットモバイル」を新たな柱に成長させていきます。

Q1 景気後退が一段と進行し、消費が低迷していますが 当社の事業に影響は現れていますか？

大野 現在、景気の悪化とともに消費者の節約志向が高まり、レジャーやエンタテインメントの分野においても、旅行など比較的多くの出費を要するものは打撃を受けている状況ですが、当社の提供サー



ビスについては「家で手軽に楽しめる」「暇つぶしとして気軽に遊べる」といった特性から、不景気によるダメージはさほど大きくありません。

しかしながら、当社に関連する昨今の市場動向として、パチスロ機に対する規制強化の影響からパチスロユーザー人口が減少しており、このダメージは当社のアミューズメントオンライン事業・アミューズメントモバイル事業に少なからず波及しております。当社では、PC向けサービス「777タウンドットネット」および携帯電話向けサービス「サミー777タウン」におけるコンテンツのさらなる拡充により、ゲームの魅力を伝えるべく努力しております。

Q2 当期(2009年3月期)における重点的な取り組み についてお聞かせください。

大野 前期決算において中国事業からの撤退等による特別損失を計上した経緯から、当期は利益重視を基本方針として「筋肉質の会社」を目指し、以下の3つの重点課題に取り組んでまいりました。

第1に、コア事業であるアミューズメントオンライン事業・アミューズメントモバイル事業の強化です。当期は特に、「777タウンドットネット」においてゲームのライセンス供与元となるパチンコ・パチスロメーカーを23社に拡げつつ、アイテム・アバターの拡充、麻雀・カジノゲームの追加などコンテンツを充実させ、収益拡大を追求いたしました。

2番目に、当社子会社の株式会社リアスがポイントメディア事業として展開している、「予想ネットモバイル」の成長です。「予想ネットモバイル」は、ゲームや予想問題を通じてポイントを増やすことができる無料サービスで、2008年7月よりNTTドコモのiモード公式初となる無料ポイントサイト「予想ネットmobile」として、同年10月よりKDDIグループとの協業サイト「au oneおこづかい」として、スタートさせました。会員数の状況は、当期末現在で両キャリア合わせてサービス開始後僅か6ヵ月間で57万人と、極めて好調な出足を見せております。

重点課題の3番目は、次なる成功の兆しを捉える新規事業への注力です。具体的にはエデュテイメント分野の活性化を図ってまいりました。メインターゲットを中高生に特化した無料コミュニティサイト「uchico」を2008年8月にスタートさせ、会員獲得に努めてまいりました。

こうした取り組みにより、当期は好業績を収める結果となり、特に利益面において大きな改善を果たすことができました。

Q3 業績数値は当初の予想を上回る成果となりましたがその要因は何でしょうか？

大野 売上面で最も貢献した要素は、アミューズメントオンライン事業の伸びです。「777タウンドットネット」において、前述の通りアイテム・アバターの拡充や麻雀・カジノゲームの追加などコンテンツの充実を図ったことにより、無料会員数121万人・有料会員数約16万人へと拡大いたしました。これにより当期は、アミューズメントオンライン事業の売上高が、アミューズメントモバイル事業の売上高を逆転して上回る状況となりました。

また、利益面については、業務改善等による原価や販管費の低減に努めることで、営業利益率30%（単体）を達成いたしました。

なお、当期純利益の大幅な増加については、税効果の特殊要因もあり、当社過去最高益となりました。

Q4 今後の成長に向けた注力分野および戦略と来期（2010年3月期）の見通しをお聞かせください。

大野 最も重視している注力分野は、株式会社リアスによる「予想ネットモバイル」です。今後この「予想ネットモバイル」を、当社のアミューズメント2事業に続く第3の中核事業として成長させていく考えです。来期は大幅な会員数増加を目指していくと同時に、業績寄与の面でもより大きな成果を追求してまいります。

次に、アミューズメント事業の来期の具体的な戦略としては、新規ユーザーの開拓につながる公営ギャンブルとの提携や、「麻雀」・

「カジノ」に続く「ゲームセンター」の開設など、「777タウンドットネット」におけるさまざまな新コンテンツの導入を計画しております。また、パソコン・携帯電話に続いて、家庭用ゲーム端末を新たなプラットフォームとする取り組みも進めております。

さらに、実際の収益貢献は再来期以降となりますが、将来の成長に向けた新規事業として、先ほど申し上げましたエデュテイメント分野の「uchico」においては、来期に向けたビジネスモデルの構築を進めてまいります。

来期の連結業績については、売上高124億円、営業利益25億円、経常利益25億円、当期純利益13億50百万円を見込んでおります。

Q5 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

大野 株主の皆様への利益還元方針として、当期より皆様への利益還元をさらに充実させるべく、「連結配当性向20%」を目安とし増配させていただきました。今後、この水準を維持しつつ、さらなる業績の拡大とともに一層充実した利益還元を実施できるよう、努力を重ねてまいります。

一方、当社の株価については、長期的に当社をご支援いただいている株主の皆様にとって、非常に不満足な現状であることを強く認識しております。こうした状況を打開していくために、当社はこちらに申し上げた「予想ネットモバイル」を中心とする新しい分野のサービスを突き抜けさせていくと同時に、コア事業であるアミューズメント事業の収益力をしっかりと保ちながら、着実に成長の歩みを進めてまいります。今期事業計画をきっちり達成していくことで、当社に対する企業価値の向上につなげてまいりたいと存じます。

株主の皆様におかれましては、長期的な視点で当社の成長力にご期待いただき、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

経営成績(連結)

■ 全般の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、米国サブプライムローン問題に端を発した世界的な金融市場の混乱や急激な株価下落や円高に加え、原油・原材料価格の高騰を背景とした世界経済の減速を受け、企業収益が低下するとともに、雇用情勢の悪化や個人消費の停滞等が顕著となり、景気減退の傾向はさらに鮮明になりました。

当社グループを取り巻く環境としましては、日本国内におけるFTTH(光ファイバーによる家庭向けのデータ通信サービス)、DSL(デジタル加入者線)等の主要なブロードバンド契約数が平成20年12月末で3,011万件(前期末比6.4%増)と堅調に推移しております。(※1)

また、日本国内における携帯電話等の加入者数は、平成21年3月末時点で11,205万件(前期末比4.3%増)であり、そのうちインターネット接続が可能な携帯電話の加入者数は10,748万件(前期末比4.6%増)と携帯電話機等の95.9%を占めており、PC・携帯電話ともにインターネットの普及率は微増ながらも堅調に推移しております。(※2)

このような状況のもと当社グループでは、引き続き携帯電話

およびPC向けのパチンコ・パチスロゲームを中心としたコア事業の強化・拡大を推し進めるとともに、新規サービスの立ち上げにおいても積極的に展開してまいりました。

また、更なる収益性の強化を目的とし、筋肉質の体質になるべくコスト構造の見直しおよび業務の改善を徹底いたしました。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高110億77百万円(前年同期比0.6%減)、営業利益22億47百万円(前年同期比32.7%増)、経常利益22億74百万円(前年同期比40.1%増)、当期純利益17億3百万円(前年同期比375.0%増)となりました。(※3)

(※1) 総務省調べ

(※2) 社団法人電気通信事業者協会調べ

(※3) 当期純利益につきましては、セガサミーメディア㈱を平成20年7月1日付で吸収合併したことによる税務上の繰越欠損金の継承に伴う法人税等の減少額6億52百万円を含んでおります。

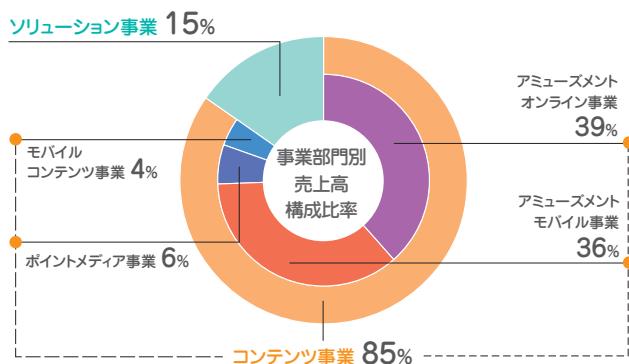
■ セグメント別の概況

コンテンツ事業

● アミューズメント事業

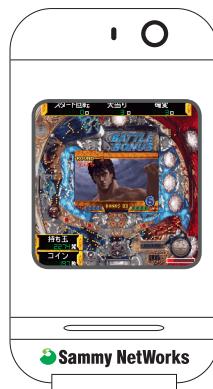
アミューズメントオンライン事業につきましては、PC向けパチンコ・パチスロオンラインゲーム「777タウンットネット」において、有力パチンコ機「ばちんこCR北斗の拳」等の先行配信やその他のパチンコ・パチスロゲームコンテンツの安定供給を主体として、コミュニティ機能の充実や初心者向け機能の整備に加え、パチンコ・パチスロユーザーに親和性の高い「麻雀」や「カジノ」ゲーム等の充実化を図り、さらに各種イベントやキャンペーン等を積極的に実施しました。

アミューズメントモバイル事業につきましては、パチスロ参加人口が減少傾向にある中、コミュニティ機能の追加等の全面リニューアルの実施および充実化を図り、有力パチンコ機「ばちんこ



CR北斗の拳」等の先行配信、新規メーカーのゲームコンテンツの提供開始など、ユーザーの利用満足度の向上を目標にサービス提供に努めてまいりました。

この結果、アミューズメント事業の売上高は82億64百万円(前年同期比7.1%増)となりました。



● ポイントメディア事業(※4)

7月にNTTドコモのiモード公式サイトにて、公式初のポイントサービスとして「予想ネットmobile」の開始に続き、10月にはKDDIグループとの協業サイト「au one おこづかい」をスタートさせました。KDDIグループとの協業サイトという利点を活かし、じぶん銀行をはじめとするKDDIグループとの積極的なプロモーションやコラボレーションを進めてまいりました。3月末時点で会員数約57万人を獲得しております。



PC版においてはYahoo! JAPANとのIDの連携、Suicaポイントの交換を開始するなど他社とのポイントの連携を強化することで、ユーザーの利便性の向上に努めてまいりました。

この結果、ポイントメディア事業の売上高は6億66百万円(前年同期比1.2%減)となりました。

(※4) インターネット上でショッピングや資料請求を行うことで各種ポイントを貯めたり、ゲームや予想問題を通してポイントを増やすことができる「予想ネット」を中心としたサービスの運営を行っております。

● モバイルコンテンツ事業

モバイルコンテンツ事業につきましては、着信メロディサービス「プラチナメロディ」を中心とする携帯電話向けサービスでは、着信メロディ市場における飽和傾向の影響を受け、会員数は減少傾

向で推移いたしました。積極的なコスト構造の見直しなどの施策により、収益性の向上に努めてまいりました。しかしながら、「ケータイPOST」においては、3キャリア対応、利便性の向上等に努めてまいりましたが、目標には大きく届きませんでした。

この結果、モバイルコンテンツ事業の売上高は4億80百万円(前年同期比31.1%減)となりました。

● 新規事業

エデュテイメント(※5)分野において、携帯電話向けのサービス「うちのベンキョー委員会」をスタートさせました。また、その関連サービスとして、中高生向けの携帯電話向け無料サービス「uchico」を8月にスタートさせ、コンテンツの充実、プロモーション等により会員獲得に努め、3月末時点で約36万人を獲得しております。



また、子供たちを守るために、携帯電話のマナーやルールを楽しく学べるサイト「こころ部」を6月からスタートさせ、良い反響をいただいております。

以上の結果、コンテンツ事業の売上高としましては、94億17百万円(前年同期比1.3%増)、営業利益23億41百万円(前年同期比23.6%増)となりました。

(※5) 教育(エデュケーション)と娯楽(エンターテインメント)の造語

ソリューション事業

GPSゴルフカート運行システム「Trust Navi」の営業活動を推進するとともに、システム開発案件の受注の確保に努めてまいりました。

この結果、ソリューション事業の売上高は17億1百万円(前年同期比0.9%減)、営業損失95百万円(前年同期は営業損失1億10百万円)となりました。

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	当連結会計年度 2009年3月31日現在	前連結会計年度 2008年3月31日現在
● 資産の部		
流動資産	8,920,550	6,208,680
現金及び預金	6,041,380	3,188,004
売掛金	2,410,680	2,035,172
商品	16,047	5,081
繰延税金資産	121,307	649
その他	331,133	979,772
固定資産	3,250,305	3,256,283
有形固定資産	160,492	144,849
無形固定資産	2,142,578	2,008,268
投資その他の資産	947,233	1,103,165
資産合計	12,170,855	9,464,964
● 負債の部		
流動負債	2,305,221	1,364,717
買掛金	747,414	841,592
未払金	289,721	207,511
未払法人税等	680,403	2,392
賞与引当金	135,991	83,480
役員賞与引当金	120,000	—
その他	331,692	229,740
固定負債	256,510	86,100
負債合計	2,561,731	1,450,818
● 純資産の部		
株主資本	9,599,091	8,031,457
資本金	2,330,275	2,330,275
資本剰余金	2,974,810	2,974,810
利益剰余金	5,047,108	3,479,474
自己株式	△753,103	△753,103
評価・換算差額等	△4,973	△20,739
少数株主持分	15,005	3,428
純資産合計	9,609,123	8,014,146
負債純資産合計	12,170,855	9,464,964

連結損益計算書

(単位：千円)

科目	当連結会計年度 2008年4月1日から 2009年3月31日まで	前連結会計年度 2007年4月1日から 2008年3月31日まで
売上高	11,077,002	11,148,763
売上原価	5,695,897	5,889,042
売上総利益	5,381,105	5,259,720
販売費及び一般管理費	3,133,838	3,566,372
営業利益	2,247,267	1,693,347
営業外収益	43,345	6,981
営業外費用	16,433	76,609
経常利益	2,274,179	1,623,720
特別利益	10,347	241,506
特別損失	62,664	1,436,970
税金等調整前当期純利益	2,221,861	428,256
法人税、住民税及び事業税	695,817	98,067
法人税等調整額	△190,188	72,876
少数株主利益又は少数株主損失(△)	12,248	△101,438
当期純利益	1,703,984	358,751

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	当連結会計年度 2008年4月1日から 2009年3月31日まで	前連結会計年度 2007年4月1日から 2008年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,136,408	1,500,905
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,179,200	△1,476,134
財務活動によるキャッシュ・フロー	△102,953	△304,466
現金及び現金同等物に係る換算差額	△293	△8,427
現金及び現金同等物の減少額	△1,146,039	△288,122
現金及び現金同等物の期首残高	3,188,004	3,476,126
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△584	—
現金及び現金同等物の期末残高	2,041,380	3,188,004

連結株主資本等変動計算書

(単位：千円)

当連結会計年度 2008年4月1日から 2009年3月31日まで	株主資本					評価・換算差額等			少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
2008年3月31日残高	2,330,275	2,974,810	3,479,474	△753,103	8,031,457	△20,739	—	△20,739	3,428	8,014,146
連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当	—	—	△132,252	—	△132,252	—	—	—	—	△132,252
当期純利益	—	—	1,703,984	—	1,703,984	—	—	—	—	1,703,984
連結範囲の変動	—	—	△4,097	—	△4,097	—	—	—	—	△4,097
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	20,633	△4,867	15,766	11,576	27,343
連結会計年度中の変動額合計	—	—	1,567,634	—	1,567,634	20,633	△4,867	15,766	11,576	1,594,977
2009年3月31日残高	2,330,275	2,974,810	5,047,108	△753,103	9,599,091	△106	△4,867	△4,973	15,005	9,609,123

Check Point

連結貸借対照表

● 資産の部

資産合計は、前連結会計年度末に比べ27億5百万円増加し、121億70百万円となりました。その主な増減は、現金及び預金の増加28億53百万円、売掛金の増加3億75百万円、未取還付法人税等の減少5億46百万円などがありました。

● 負債の部

負債合計は、前連結会計年度末に比べ11億10百万円増加し、25億61百万円となりました。その主な増減は、未払法人税等の増加6億78百万円、リース債務の増加1億54百万円などがありました。

● 純資産の部

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ15億94百万円増加し、96億9百万円となり、自己資本比率は5.8ポイント減少し78.8%となりました。

連結損益計算書

● 売上高

当連結会計年度における連結売上高は、前年同期比0.6%減の売上高110億77百万円となりました。前年同期比0.6%減の減少要因は、海外事業の撤退による影響があげられます。

● 営業利益・経常利益・当期純利益

当連結会計年度における営業利益は前年同期比32.7%増の22億47百万円、経常利益は前年同期比40.1%増の22億74百万円、当期純利益は前年同期比375.0%増の17億3百万円となりました。営業利益、経常利益、当期純利益の増加要因は、アミューズメントオンライン事業の成長、業務改善等による原価と販管費の低減が寄与しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

当連結会計年度末における現金及現金同等物は、前連結会計年度末に比べ11億46百万円減少し、20億41百万円となりました。なお、投資活動によるキャッシュ・フローには定期預金の預入による40億円が含まれております。

株主スクエア

アンケートのご報告

前回の中間報告書にて実施いたしました「株主アンケート」の集計結果が整いましたので、主なデータにつきご報告いたします。アンケートに際しましては、多くの皆様のご協力を賜りましたことを、感謝申し上げます。

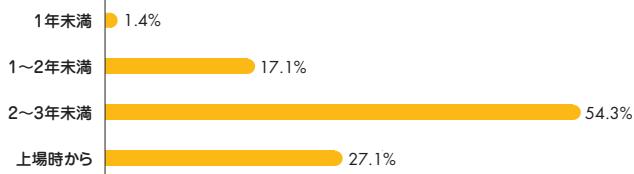
● アンケート回答者様の世代別内訳



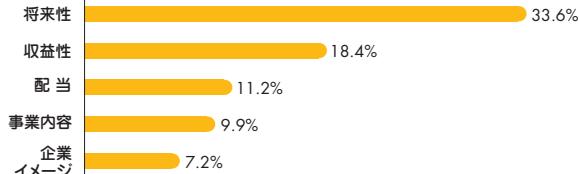
● アンケート回答者様の性別内訳



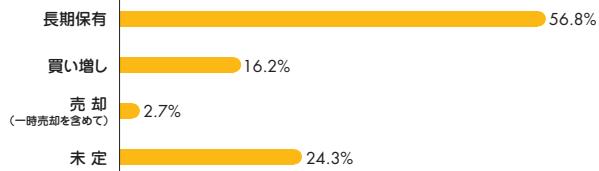
Q 当社株式保有期間



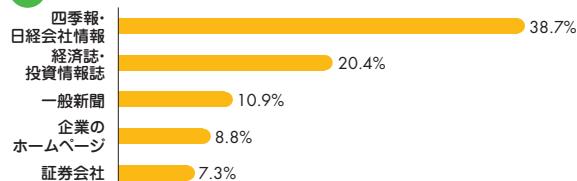
Q 当社株式購入理由（複数回答・上位5位）



Q 保有する当社株式の今後の方針



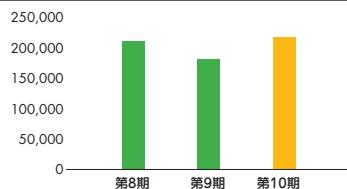
Q 参考とする投資情報（複数回答・上位5位）



一株当たり情報

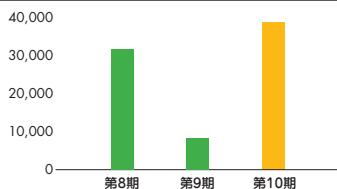
● 一株当たり純資産

(単位:円)



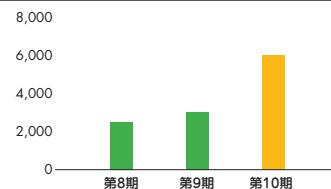
● 一株当たり当期純利益

(単位:円)



● 一株当たり配当額

(単位:円)



株式情報

● 株式の状況

発行可能株式総数	120,000株
発行済株式総数	45,306株
株主数	2,898名

● 大株主

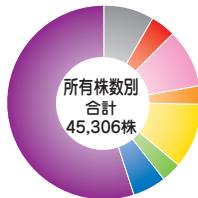
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
セガサミーホールディングス株式会社	24,804	54.74
大野 政昭	1,372	3.02
株式会社サミーネットワークス	1,222	2.69
日本証券金融株式会社	918	2.02
野村信託銀行株式会社(投信口)	507	1.11
倉垣 英男	432	0.95
株式会社ドコモ・ドットコム	420	0.92
森 貴義	380	0.83
佐藤 信邦	360	0.79
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	298	0.65

● 株式分布状況

● 金融機関	4.24%
● 金融商品取引業者	1.42%
● その他の法人	58.97%
● 自己名義株式	2.70%
● 個人・その他	31.19%
● 外国人等	1.49%



● 1株以上	8.49%
● 5株以上	4.23%
● 10株以上	9.55%
● 50株以上	3.25%
● 100株以上	10.86%
● 500株以上	3.15%
● 1,000株以上	5.73%
● 10,000株以上	54.75%



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 期末配当金 3月31日
 受領株主確定日

中間配当を行う場合は9月30日
 毎年6月

定時株主総会
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座管理機関

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 〒137-8081
 東京都江東区東砂7丁目10番11号
 TEL 0120-232-711(通話料無料)

上場取引所 東京証券取引所

公告掲載URL <http://www.sammy-net.jp/announcement.html>
 (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)

お知らせ

1. 株券電子化によるご注意

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。
- 配当金の口座振込のご指定につきましても、お手続きは配当金振込指定書を各口座管理機関を経由してお届けいただくこととなりましたので、各口座管理機関(証券会社等)にお問合せください。
- 支払期間経過後の未受領の配当金のご照会につきましては、上記の三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部までお問合せください。

2. 配当金計算書について

本年から、配当金の口座振込をご指定の方と同様に、「配当金額収証」により配当金をお受取りになられる株主様宛にも「配当金計算書」を同封いたしております。配当金をお受取りになった後の配当金額のご確認や確定申告の資料としてご利用いただけます。

会社概要

(2009年3月31日現在)

- 会社名 株式会社サミーネットワークス
Sammy NetWorks Co., Ltd.
- 本社所在地 〒107-0062
東京都港区南青山3丁目1番31号
NBF南青山ビル3階
- 設立 2000年3月1日
- 資本金 23億300万円
- 事業内容 携帯電話、PCへのゲーム関連コンテンツ、音楽関連コンテンツの配信サービス、インターネット広告事業、Eコマースおよびシステム開発事業
- 監査法人 あずさ監査法人
- 従業員数 連結189名、単体126名

役員

(2009年6月12日現在)

取締役会長	里見 治	執行役員	倉垣 英男
代表取締役社長	大野 政昭	執行役員	佐藤 慎吾
取締役副社長	崎野 清文	執行役員	小口 剛
専務取締役	石倉 博	執行役員	三井 友樹
取締役	大山 太郎		
取締役	西田 浩		
常勤監査役	河村 芳隆		
監査役	榎本 峰夫		
監査役	嘉指 富雄		

主な連結子会社

(2009年3月31日現在)

株式会社リアラス

株式会社メディア・トラスト

ホームページのご案内



サミーネットワークスに関する詳しい情報はインターネットでご覧いただけます。または、IRメールにて最新情報を配信しております。ぜひ、この機会にご登録ください。

● ホームページアドレス
<http://www.sammy-net.jp>

● IRメール配信
<http://www.sammy-net.jp/ir/mail/>

ばちんこCR北斗の拳(777タウンドットネット)
©武論尊・原哲夫/NSP 1983, ©NSP 2007
著作権許諾証GT-706. ©Sammy

ばちんこCR北斗の拳(サミー777タウン)
©武論尊・原哲夫/NSP 1983, ©NSP 2007
著作権許諾証GS-406. ©Sammy

今後の見通しに関する注意事項

本誌の記載内容のうち、当社の将来に関する見直しおよび計画などの歴史的事実でないものについては将来予測であり、現在入手可能な情報から得られた会社の判断に基づいています。これらの将来予測には、リスクや不確定な要素が含まれており、実際の成果や業績などは、記載の見直しとは大きく異なる可能性があります。

※ 本冊子は環境に配慮し、再生紙と大豆油インクを使用しています。